

「学生生活満足度調査2010」報告書完成

学生の満足度向上をさらに目指し、リニューアル

名称変更した

学生生活満足度調査

東京家政大学・東京家政大学短期大学部では、1971年(昭和46年)を第1回目として、5年または6年に一度、「学生意識生活調査」を実施してきました。2003年に第7回目の調査が行われた後、それまで狭山校舎で学んでいた家政学部1・2年生が板橋校舎へ移り、ついで2009年に文学部が人文学部となつて、板橋校舎への完全なワンキャンパス化が実現するという大きな出来事がありました。そのため、調査の実施までに7年の間隔が空きましたが、昨2010年10月に、第8回目となる調査が実施されました。調査の対象は大学生、短大生全員で、大学生は81%に当たる4008名、短大生は89%に当たる860名からの回答を得ることができました。2年生以上のみならず、1年生の回答も受けました。ご記憶がもしもありません。ご協力に感謝したいと思います。

今回の調査では、名称が「学生生活満足度調査」と変更されました。これは調査の結果を、学生のみならずの満足度向上のために活かすというのを、今まで以上に強調するためです。

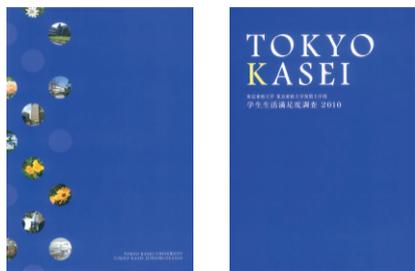
負担軽減と効率化考慮の44質問項目

調査票の作成は、教育・学生支援センター、進路支援センター、保健センター、図書館、国際交流センター、生涯学習センターなど、学

生活に大きな関わりを持つ学内各部署から質問項目原案を出してもらったことからはじめました。そして、それらの項目を土台として、学生委員会と教育・学生支援センターで協議を重ねながら、最終項目を作っていくきました。学生のみならず回答してもらう際の負担や時間的な制約を考慮するために、当初の案と比べると項目数をだいぶ減らします。従来の調査結果との比較可能性を考慮して、これまでの調査で用いた同じ質問項目もいくつか残しました。

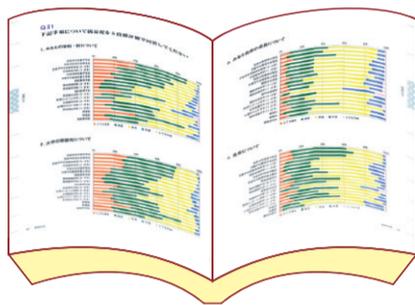
見やすくカラフル表現 自信作の報告書

このたび完成した報告書は、44項目の集計結果にコメントをつけてまとめたものです。編集にあたって重視したのは、見やすさです。貴重なデータであっても、単なる数値の羅列では、読む気が起こりにくいものです。見向きもされたいと、さらにもっといいものを作りたいと、本報告書では、読んで(見て)もらいやすさを考慮して、集計結果をシンプルかつカラフルなグラフで表現してあります。レイアウトや表紙デザインも、ヒューマンライフ支援センターにお願した自信作です。図書館、教育・学生支援センターや進路支援センターの窓口で配置する予定ですので、ぜひ、手にとってご覧ください。



(表)

(裏)



東日本大震災後の学生の取り組み・支援活動

復興の願いを込めた「緑のカーテン」が、学園の所在地である板橋区が発祥の地だといふことはご存知でしたか。2003年に、板橋第七小学校で行われたのをきっかけに、全国各地に広まったと言われています。

大学内でも一昨年の夏に、環境分析研究室の村上和雄教授のセミナーの一環として「緑のカーテン」が始まりました。二期目となる今年度は、村上教授を顧問に、「環境サークルジラス」のメンバーと、栄養学科の有志の学生が協力し合い、育



たわわに実った元気なゴーヤ

ながら取り組みました。実行委員、クラスの友人達の協力で苦勞を乗り越えた1年生中心の実行委員会、何れも初めての経験、とまどうことばかりで本当に不安と苦勞の連続でした。また、多忙な日々が続く、勉強との両立もままならない状態でしたが、委員全員、そして周りの友人達の協力を得て数々の苦勞を何とか無事に乗り越えることができました。

みなさん、「緑のカーテン」が、学園の所在地である板橋区が発祥の地だといふことはご存知でしたか。2003年に、板橋第七小学校で行われたのをきっかけに、全国各地に広まったと言われています。

大学内でも一昨年の夏に、環境分析研究室の村上和雄教授のセミナーの一環として「緑のカーテン」が始まりました。二期目となる今年度は、村上教授を顧問に、「環境サークルジラス」のメンバーと、栄養学科の有志の学生が協力し合い、育

大2管士 佐竹未希
被災した子ども達へ手作りタオルを贈呈

大3児童学科・児童教育学科対象の「生活環境演習(塩瀬治非常勤講師)の受講生達が、授業で地球環境の問題を学び、実際、東日本大地震で被災した子ども達に何かできないかを話し合った結果、学生全員参加で手作りタオルを贈ることが決定しました。

タオル作りは授業時間外に行われ、フェルトで柄を付けたり、刺繍により励ましのメッセージを入れたりし、タオルを包装する際には手紙と一緒に同封するなど、それぞれに工夫を凝らしたonly oneのタオルが学生全員の手によって完成し集められました。

8月1日、栃木県のホンダ自然体験施設「ツインリ



そっと! タオルをのぞきこむ子ども達



学園創立130周年という記念すべき緑苑祭が10月22・23日に行われました。今回のテーマは、「学園創立130周年 家政が日本を活性化」

今回はそのテーマのもと、素晴らしい緑苑祭を作り上げた第51回緑苑祭実行委員会の委員長 大1管理栄養士専攻の児玉あゆ美さんにお話を伺いました。

待ち構えていたのは膨大な量の仕事の数々

「毎日毎日、目の前の仕事をこなしていくのに必死で、正直なところ、最初は130周年ということを意識している余裕はありませんでした。しかし、学園創立130周年を迎えた記念すべき緑苑祭であること、周りの状況から徐々に認識し、自らの思いを込め



ながら取り組みました。実行委員、クラスの友人達の協力で苦勞を乗り越えた1年生中心の実行委員会、何れも初めての経験、とまどうことばかりで本当に不安と苦勞の連続でした。また、多忙な日々が続く、勉強との両立もままならない状態でしたが、委員全員、そして周りの友人達の協力を得て数々の苦勞を何とか無事に乗り越えることができました。

みなさん、「緑のカーテン」が、学園の所在地である板橋区が発祥の地だといふことはご存知でしたか。2003年に、板橋第七小学校で行われたのをきっかけに、全国各地に広まったと言われています。

大学内でも一昨年の夏に、環境分析研究室の村上和雄教授のセミナーの一環として「緑のカーテン」が始まりました。二期目となる今年度は、村上教授を顧問に、「環境サークルジラス」のメンバーと、栄養学科の有志の学生が協力し合い、育

そして、記念日になりました。みなさん、本当にありがとうございました。ご協力ありがとうございました。

★学科企画

○栄養学科
授業成果発表として、たくさんのデザート、行事会のレシピが掲示されました。黒板にはオススメレシピが紹介され、学生達からは「美味しそう」という声があふれてきました。

○服飾美術学科・服飾美術科
ファッションショーEVEが行われました。会場前には大勢の人が列をなし、盛況振りが伺えました。

○造形表現学科
作品展示のテーマは「等身大の自分」。様々な作品が展示されていました。

★130周年記念企画!

緑苑祭で行われた企画の一部を紹介します

TKU's 人生の先輩と話をしよう

人文学部(前文学部)の卒業生をお招きし、在校生との交流会が開かれました。雰囲気は終始和やか。大

きな輪になって、みんな楽しそうに参加していました。創立130周年記念学科シンポジウム

創立130周年の記念企画として、各学科別シンポジウムでは、卒業生やその道のプロをお招きして、専門的なお話を聞くことができました。

○児童教育学科「インクルーシブ教育を考えるー特別支援教育の未来ー」

○環境教育学科「スキマの国のポルタ」荒井良二さんの世界を体感を喜ばせ、日常に新たな価値を見出す

○英語コミュニケーション
屋外では、多くのサークル団体の模擬店が軒を連ね、美味しそうな匂いがあちこちから漂ってきていました。どの企画も、活性化というテーマに相応しい、元気があふれている発表であったと思います。

大3栄養 海老綾香

ンク茂木」で行われた記念式典に集まった被災地の小学生達に、完成したタオルを贈呈しました。

タオルをそつとのぞきこんだり、楽しい刺繍のイラスト、手紙の優しい言葉に笑顔の花がたくさん咲いていました。被災地の子ども達に「世界にひとつだけの手作りタオル」を使って少しでも元気になれることを祈っています。

大2管士 大熊はるな

Pink Ribbon ピンクリボン運動



Design
造形表現学科卒業生
(H21年度卒)

本学が推進するピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、早期発見・早期診断・早期治療を啓蒙・推進することを目的としています。

②「ピンクリボンウォーク IN 戸田市」(10/30)に参加
戸田市で開催された「ピンクリボンウォーク IN 戸



MENU①和風ミネストローネ
②豆乳カレースープ
③豆腐白玉の和風パフェ

①「緑苑祭(10/22・23)に「なでしこカフェ」を出展
緑苑祭では大3管理栄養士専攻の有志19名が「なでしこカフェ」を出展し、乳がんの予防効果が高い食材を使ったメニューを提供し、乳がんの知識を深める展示物を作成しました。カフェの売上げは、学生の希望により東日本大震災の被災地にあるピンクリボン運動を推進する団体に寄付される予定です。

③「生活習慣病予防イベント(2/22)に参加協力予定
北区開催の生活習慣病の予防イベント「20歳(はたち)へのプレゼント」へ参加し、ピンクリボン運動を推進します。



2,000人以上の参加



資料を広げてプレゼンの練習
多目的室

◆多目的室・メディア利用室が大盛況!
昨夏、図書館2階がリニア利用室が誕生しました。多目的室では、館内利用のノートPCを使いレポートの作成や、グループ発表の練習などに取り組む学生が多くみられます。また、メディア利用室では最新機器でDVDが視聴でき、グループコーナーは大型ディスプレイで迫力の



DVDでちょっと息
メディア利用室

◆文献の探し方説明会
主に卒論・修論を作成する方を対象に2月に実施予定です。受講者のテーマに沿ったデータベースの説明や、電子ジャーナルの検索実習など効率的な文献収集の方法を説明します。卒論・修論をどこから手を付けていいかわからない!とお悩みの方は、ぜひ

春期休業中の長期貸出

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
在学年 大学1~3年 短大1年	1/24(火)~3/29(木)	5冊	4/14(土)
大学院	1/24(火)~3/15(木)	10冊	
卒業学年 大学4年 短大2年	1/24(火)~3/17(土)	5冊	3/17(土)
大学院		10冊	

上記の日付以降は通常の貸出に戻ります。

ご参加ください。詳しい日程は決まり次第お知らせ致します。◆春期休業中の長期貸出
春期休業中は通常より長い期間、本を借りることができません。寒い季節は暖かい室内で読書もいいですね。4月からの新生活に向けて知識を深め、多くの本を利用してください。

生涯学習センターは、地域社会への大学開放の一環として設立され、今年で16年目を迎えます。市民の方や在学生のみならずの「学びたい」という気持ちから様々な角度からサポートしています。

講座の企画・提供といった「学習の場」としてだけでなく、受講生同士の「交流の場」としての機能も重視しており、継続的な学習環境を提供できる支援を行っています。窓口は大学8号館1階にあります。

大学の ここが知りたい!!

35

—生涯学習センター—

●資格取得対策講座がさらに充実
在学生のみならず、空き時間を見つけて資格をもう一つプラス!ワンランクアップに繋げてください。ホ

●どんな講座があるの?
在学生及び一般向けのキャリア支援・資格取得対策講座の他、心理・福祉、語学、創作・表現、教養、生活、健康・スポーツといった7つの分野で本学130年の歴史と伝統が培った、家政大ならではの「学術」と「技芸」を中心とした講座をたくさん取り揃えています。講座は年齢や性別を問わず、どなたでも受講できます。現在4100名の会員があり、年間延べ1000名が受講しています。共に学ぶ受講生同士、そして講師との交流の環が広がっています。



在学生も参加しています
ホームヘルパー2級養成講座



科目ごとの受講もできます
保育士資格筆記・実技試験対策講座

1ムヘルパー2級養成講座、医療事務講座、介護事務講座、保育士資格筆記・実技試験対策講座、秘書技能検定2級・準一級対策講座、フードコーディネーター検定3級対策講座など、



きつと前向きになれる
ポジティブ心理学



少人数でアットホームな雰囲気
英会話入門・初級

人気の講座です。ぜひ、ご自分のニーズにあった講座を見つけてください。●年齢・性別問わず、どなたでも受講できます
年齢・性別は問いません。詳細内容・日程などは、ホ



乳酸菌の解説とキムチ作り
発酵漬物の魅力



本格的な献立です
男の料理教室

◆お問い合わせ先
TEL 03-3996-1157
FAX 03-3996-1157
4月ページからもご覧いただけます。4月初旬よりパンフレットを配布します。



博物館
かつてマヤ文明が栄えた中米の国・グアテマラ共和国。今回の展示は、この国で今も受け継がれている色とりどりの民族衣装を紹介しました。展示に訪れた方からは、鮮やかな色彩や手の込んだ織りに魅了されたという感想や、民族衣装の

博物館スタンプラリー
今年度からはじまった博物館スタンプラリー。今回の企画展で全部そろった!という方には、博物館特製

現状とこれからの考へるきっかけになったとお声を頂きました。イベント「グアテマラの民族衣装を着てみよう!」では、実際に着装することでグアテマラの衣装をより身近に感じて頂けたようでした。一見派手ですが、着ると意外にじっくりして、みなさんよくお似合いました。

秋の特別
「グアテマラ民族衣装
いろいろ・もよう・かたちの発見」
好評のうちに終了

次回の企画展
平成24年の春は「きせつを楽しむ」をテーマに、日本の伝統行事に関する食や装いを紹介します。どうぞお楽しみに!



▲集めたスタンプの数に応じてオリジナルグッズをプレゼント!

インフルエンザを寄せつけないために...



1)インフルエンザの特徴は...

・初発症状(発熱・悪寒・頭痛) ・主な症状(発熱・筋肉痛・関節痛)
※通常の風邪は喉や鼻に症状が出ますが、インフルエンザは急激な高熱で始まり激しい症状は5日続きます。必ず病院受診をして診断と適切な指示を受けましょう。

2)日常生活で注意する点は...

手洗い うがい マスク使用

- ①十分な睡眠・休養で抵抗力を落とさない!(免疫力アップを心がけましょう)
- ②バランスのよい食事で免疫力を高めよう!
- ③人ごみを避けて「病原体を寄せつけない」ようにしましょう!

3)ワクチン接種による予防

・ワクチン接種で重篤な症状回避につながるため内科医に相談を...

4)その他

- ・乾燥した空気に強いインフルエンザウイルスは湿度50~60%で生存率が急激に低下。(湿度を上げすぎると「結露」「かび」の原因になるので40~60%がお勧めです)
- ・鼻をかんだティッシュは「感染源」になるので、袋などで密封して捨てましょう。(すぐに手を洗ってウイルスを洗い流せば、周囲への感染防止にもなります。)
- ・外出時は、風邪気味でなくてもマスク使用で予防に努めましょう。



頑張っています 在学生

●公認サークルの活動 競技ダンス部

前号(第57号)で、お知らせ致しましたが、競技ダンス部は、第49回全日本学生選抜競技ダンス選手権(全国大会)に出場し健闘しましたが、惜しくも入賞は出来ませんでした。しかし、来年こそは！入賞！を目標に練習に励んでいます。その他の大会では、中・



目標を目指して頑張る！
競技ダンス部

洋大学対抗競技ダンス大会、東部日本学生競技モダン新人戦で見事、優勝しました。今後も目標を高くもって、頑張っていきます。

●白藤プロジェクト 第4回小学館 「大学は美味しい」 フェアに参加

フェアに参加

9月22日(土)26日、新宿高島屋の開店15周年記念タカシマヤタイムズスクエア大感謝祭、第4回小学館「大学が美味しい」フェア(即売)に第5期白藤プロジェクトリーダー高橋菜里さん(大3管理栄養士専攻)ら一同が参加しました。

「食」に対する研究が実を結んだ、話題の大学ブランドが一堂に集結。35大学が参加し、それぞれの自信作が店頭並び紹介されました。

白藤プロジェクトでは、東日本大震災での被災地活



自慢の白藤ビール・白藤諸白
(ラベルデザイン
大4造形表現学科
伊藤公美子さん)

動を活かし、商品開発を進めた「米粉シュークリーム」「米粉クッキー」をはじめ、新潟の酒蔵で仕込んだ「白藤諸白(しらふじもろはく)」、自分達の手で1枚ずつラベル貼りをした「白藤ビール」などが販売され大好評でした。35大学中、物産売上額第1位の2連覇を果たしました。

中学校・高等学校

附属中高では、中間考査後の短い準備期間でしたが、全員で協力し、無事に学園祭当日を迎え、笑顔があふれる2日間となりました。

中学校では、全学年による合唱祭が行われました。どのクラスも後ろの席まで歌声がしっかりと聴こえ、よく練習した様子が感じられる合唱祭となりました。

高校では、高校1年生による合唱祭を行いました。中学で合唱発表をした生徒が多かったため、経験を生かして、各クラスでまとまる事ができました。また、中庭では軽音楽部・ドリル



活躍！第5期
白藤プロジェクト



販売にも熱が入る！

「ユースファイル」 渡辺学園在学生特待生奨学金採用者へ授与

在学生特待生奨学金は本学創立130周年を記念して創設された奨学金制度です。学業成績、人物及び学業以外の活動などについて極めて優れた学生を各学科・科が推薦し、教授会にて選考・決定するもので、奨学生は後期授業料が免除となります。採用者への授与式が行われ、学長より代表者へ採用通知が手渡され、その後、理事長より、「学生代表として各種の学園運営に協力を頂きたい」との、挨拶がありました。

あり、メニュー開発、売店の混雑改善、他大学の視察、栄養に関する情報提供などを主な活動としています。食から学生生活の満足度を上げ、健康的で楽しい食生活を送って頂けるよう活動していきたいと、委員長の孫田みなみさん(大3管工)が抱負を語りました。



(食ラボ=食品ラボラトリー)
学生有志団体23名が活動

東日本大震災の影響より例年になく、より多くの先生方、学生の積極的な参加が目立ち、消火器による消火訓練、起震車・煙体験ハウスの体験などができる85周年記念館前広場は、多くの学生で埋めつくされ、真剣に取り組む姿が印象的でした。



消火訓練の説明を
真剣に聞き入る学生達

◆出版◆

落合恵子特任研究員(教授)人間文化研究所「積極的その日暮らし」(朝日新聞出版)
「孤独の力」を抱きしめて」(株式会社小学館)



盛り上がりを見せた！
高校プラスバンド部

チーム部・ダンス部・プラスバンド部などの演技や演奏が披露され、大いに盛り上がりを見せました。

節電継続にご協力を！

昨年の東日本大震災発災に伴う電力需給ひっ迫を受けて実施された法律に基づく電気の使用制限は、当初の予定を早め、終了となりました。本学園では目標としていた平成22年度使用最大電力の15%減を超える削減を達成しました。これも、学生・生徒・教職員など関係者のご理解と、ご協

力の賜物と考えています。この間、節電のための様々な工夫をし、これまでの生活スタイルや機器の使い方を直すなど、節電の考え方が日常の中に浸透してきているものと思います。さらに、この節電への取り組みはCO₂削減のための省エネにも役立つものとなりました。



本学園では法律による節電の終了後も、継続して節電に取り組むことを決定致しました。既に、この冬も、照明・空調機器などの節電要請の通知が国よりありました。こうしたことから、より安全で効果的な節電ができますよう関係各位のご理解、ご協力をお願い致します。



電気を使いたくない！
節電隊

幼稚園

大学学園祭に幼稚園も参加し「あきまつり」を開催しました。父母の会が主体となつて今年度は「音と遊ぶ」をテーマに、親子で小豆やドングリでマラカスを、牛乳パックや紙皿で太鼓など作り、普段見慣れている素材や廃材が音の出る楽器に変身。また、保護者の方々に、様々な楽器や新聞紙などを使って効果



いい音が出るね！
盛り上がった演奏会

活躍しています 卒業生

本学の卒業生 森田佐和子(もりた さわこ)さん 平成20年度 栄養学科管理栄養士専攻卒業。現在、管理栄養士として勤務する傍ら、「ラクして美味しくヘルシーに」を料理のモットーに、最近話題の調理器具であるシリコンスチーマー、タジン鍋を使用したレシピ本その他、ちよっとおしゃれなケーキ・サレのレシピ本



などを出版しました(株式会社コスミック出版)。手軽に簡単、そして美味しいメニューをカラーページで、分かりやすく紹介しています。



「先生、こんなにとれたよ！」



明るくキャンパス内の案内

待ちに待ったどんぐり拾い。秋晴れとなった10月26日、北区王子第5小学校の1・2年生総勢67名が、先生に連れられて、本学キャンパスに集まり、生活科の学習の一環として、今回で2回目となるどんぐり拾いが行われました。

第5小は本学まで徒歩10分の距離にあり、学生の教育ボランティアの受け入れ先として5年目となりま

今夏の電力使用制限令を受けて、使用していない教室や廊下の電気・エアコンなどの電源をOFFにする学生の「電気を使いたくない！節電隊」が発足し、サークル連合会や有志学生が腕章を付けて活動しました。冬の季節は暖房による電力消費が夏よりも多いと言われてい